

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 3 月 11 日(2024.3.11)

【公開番号】特開 2024-28310(P2024-28310A)
【公開日】令和 6 年 3 月 4 日(2024.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2024-040
【出願番号】特願 2023-218394(P2023-218394)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 2 月 29 日(2024.2.29)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、
遊技者が操作可能な操作手段と、
通常遊技状態と、前記通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態とに制御する状態
制御手段と、を備え、
第 1 始動条件の成立、又は、第 2 始動条件の成立に基づいて変動演出を実行可能であり、
前記変動演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、
前記変動演出の実行中に、前記特別遊技の実行を期待させる所定演出を実行可能であり、
前記所定演出の実行中に、前記特別遊技が実行されるか否かを報知する当落演出を実行可
能であり、
前記振動演出は、
操作有効期間中の操作に応じて実行される第 1 振動演出と、
前記操作有効期間を伴わずに実行される第 2 振動演出と、を含み、
前記特定遊技状態中に前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される場合よ
りも、前記通常遊技状態中に前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される
場合の方が、前記第 1 振動演出又は前記第 2 振動演出が実行され易く、
前記第 1 振動演出は、
前記当落演出において前記特別遊技が実行されることを報知するときに実行可能であり、
前記第 2 振動演出は、
前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動演出を実行するときの判定よりも前に実行され
る前記特別遊技の事前判定に応じて、前記特別遊技が実行される可能性があることを報知
するときに実行可能であることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

本開示の遊技機 1 は、遊技者に有利な特別遊技（大当たり遊技）を実行可能な遊技機に

50

において、遊技者が操作可能な操作手段（演出ボタン１７、演出レバー２４）と、通常遊技状態と、前記通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態とに制御する状態制御手段（主制御基板）と、を備え、第１始動条件の成立、又は、第２始動条件の成立に基づいて変動演出を実行可能であり、前記変動演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出（先読み振動演出、セリフ予告演出時、ステップアップ予告演出時、擬似連演出、発展演出時、カットイン演出時、決め演出時、図柄揃い時、c 図柄揃い時等の振動演出）を実行可能であり、前記変動演出の実行中に、前記特別遊技の実行を期待させる所定演出（リーチ）を実行可能であり、前記所定演出の実行中に、前記特別遊技が実行されるか否かを報知する当落演出（決め演出）を実行可能であり、前記振動演出は、操作有効期間中の操作に応じて実行される第１振動演出（セリフ予告演出時、擬似連演出、発展演出時、カットイン演出時、決め演出時などの振動演出）と、前記操作有効期間を伴わずに実行される第２振動演出（先読み振動演出、ステップアップ予告演出時、図柄揃い時、c 図柄揃い時等の振動演出）と、を含み、前記特定遊技状態中に前記第１始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される場合よりも、前記通常遊技状態中に前記第１始動条件の成立に基づく前記変動演出が実行される場合の方が、前記第１振動演出又は前記第２振動演出が実行され易く、前記第１振動演出は、前記当落演出において前記特別遊技が実行されることを報知するときに実行可能であり、前記第２振動演出（先読み振動演出）は、前記第１始動条件の成立に基づく前記変動演出を実行するときの判定よりも前に実行される前記特別遊技の事前判定に応じて、前記特別遊技が実行される可能性があることを報知するときに実行可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50